

アメリカのリベラルが解き放ったトランプ・モンスター

【訳者注】米大統領選挙が終わるや否や、この Global Research サイトだけでも、かなり多くの論文が載ったが、私の読んだ中では、これが最も核心に触れたもののように思えた。選挙の直後から、反トランプ・デモが起こっていて、分裂が激しいことがわかるが、これは、自分の住んでいる社会がどういう社会なのか、海外で何が起きているのかを、知っている者と、知らない者の間の、反目と考えていいのではなかろうか(我々の新聞テレビは後者)。

アレックス・ジョーンズ番組のデモ風景に、「トランプはファシスト」と書いたシャツを着た若者がいたが、ファシスト体制に対して立ち上がる者がファシストに見えるのは、単純に無知だからである。この論文の特に最後の数節がすばらしいと思う。

Jonathan Cook

Global Research, November 9, 2016



地球が我々の足元で、ここしばらく動き始めている。しかし、すべてのリベラルたちが必死に試みていることは、救命ボートのように、現状維持にしがみつ়くことである。イギリスの中産階級は、いまだに Brexit に反対を唱えている。そして今、アメリカの中産階級が、ドナルド・トランプがホワイトハウスに収まった姿を想像して、おののいている。

そして、もちろんアメリカの中産階級は、自分たち以外のあらゆる者を責めている。その典型的な、おのれのみ正しとする例は、昨日、トランプの成功の前に書かれた、イギリスの非公式な、権力盲従の、ワシントンおたくの文章で、ガーディアン紙の Jonathan Freedland の コラム記事 である。彼は、ヒラリー・クリントンがホワイトハウスに入るのを妨げたのは、彼女以外のあらゆる者だとしている。

https://www.theguardian.com/us-news/2016/nov/07/who-is-to-blame-us-election-trump?CMP=share_btn_tw

それなら、フリードハンドやアメリカのリベラルに言いたいことがある。トランプが「オー

バル・オフィス」(大統領執務室)に入るようになった理由は、そもそも民主党が予備選挙を不正操作して、トランプを負かすことのできた候補者バーニー・サンダースを、公認候補者リストから落としたからである。誰かを責めたいなら、クリントンと、芯まで腐っている民主党の指導部を責めるべきである。

しかし、そう言っても、リベラルたちは聞く耳をもたないだろう。なぜなら彼らは、ジュリアン・アサンジとウィキリークスが、クリントン陣営の E メールに書かれている民主党指導部の真実を暴露したとって責め、またロシアがそれを盗んだとって責めるのに忙しいからである。

責められるべきは、ほかならぬバラク・オバマでもある。彼は偉大な黒人の希望として、いかに自分が、国内ではネオリベラルの正統派に、海外ではネオコンのアジェンダに、しっかりつるんでいるかを 8 年かけて証明した。

リベラルたちが彼を誉めそやしている間に、彼は最後のアメリカの財源を、倒れかけた銀行システムを支えるのに費やし、ごくわずかの、すでに途方もなく富裕なエリートを、国を破産させても、さらに富ませるようにした。金権階級は次に、この巨大な額をロビイストと連邦議会議員たちに回して、彼らをコントロールするのに使い、普通のアメリカ人の声がこれまで以上に確実に無視されるように図った。

オバマはまた、無益な“テロとの戦い”を継続して、世界を一つの巨大な戦場に変え、兵器産業にとっては毎日が給料日になるようにした。アメリカはジハーディストと市民に、同じように爆弾を落としているが、一方で、この同じジハーディストに武器を与え、さらに多くの市民を殺させている。

そしてその間、リベラルたちは、彼らの政治制度を切り崩す軍 - 産複合企業に、反対するキャンペーンをしていたのだろうか？ もちろんそんなことはしなかった。彼らは難民の大量流入については心配していたが、それは、彼らのリーダーたちが起こしたほかならない、資源戦争から逃げ出した人々なのだ。

それに、クリントンに忠実な合唱隊として奉仕する、リベラルのメディアがある。彼らは我々に、彼女は模範的な大統領になると確信させ、明らかに見えているものを無視させようとしている——すなわち、クリントンは、オバマ以上に、銀行家や武器商人の一味に食い込んでおり、戦争を減らすのでなく、さらに増やすだろうということである。

私がリベラルを激しく非難するとき、少しトランプに似ているだろうか？ そう、似ている

だろう。そして、あなたが、私をひそかなトランプ支持者だとして、弾劾しようと一生懸命になっている間、あなたは、一つの真に進歩的な立場が、トランプのそれのように、なぜ極右に非常に似ているのかの理由を、調べてみることを、必死に拒否し続けることができる。

その理由は、真の進歩主義者は、現状に対して、トランプにすぎた、貧しく傷つきやすく、幻滅した人々と同じくらい、欲求不満と怒りを覚えているからである。そして彼らがトランプに投票するよりほかなかったのは、大統領レースにおいて、真実に近いことを少しでもはっきり言う者は、彼以外にいなかったからである。

サンダーズは、クリントンと彼女の腐敗した仲間によって追い出された。ジル・スタインと緑の党は、腐敗した選挙制度によって、見えなくされた。選択は、クリントンと膿のたまった現状維持か、トランプと変化への可能性か、どちらかだった。

確かに、トランプは好ましくない。彼はクリントンと同じく、現在のアメリカの金権政治の生み出した存在である。彼はクリントンと同じく、人類の直面する最も重要な問題である、天井知らずの気象変化に手を付けることはないだろう。彼は気象問題を否定し、彼女はそれを避けている。

しかしクリントンとは違って、トランプは、この“システム（制度）”に対して湧き上がる民衆の怒りを理解していた。そして彼は十分明瞭にそれを表現した——苦痛の呻きだけでよかった。

トランプは、リベラル・アメリカの反テーゼではない。あなた方リベラルが、そういう彼を創ったのだ。あなた方がこのモンスターを解き放ったのだ。それは鏡に映ったあなた方の姿だ。あなた方は沈黙して、自分の国が盗まれているのに、立ち上がろうとしなかった。実はもっと悪いことをした——あなた方は、盗みを働いている者たちを、何度も熱心に応援した。

今、道がはっきり見え、高速に乗った。崖が彼方にある。そしてアメリカのリベラルたちは、しっかりシートベルトをかけている。